

事業所名

ハッピーテラス福山教室・沖野上教室

支援プログラム（参考様式）

作成日

2024年

10月

25日

法人（事業所）理念

子どもは絶対に成長するという信念をもち、子どもたちが「自信」を持って、自立に向けた一歩を踏み出せることを目指して支援を行っていきます。

支援方針

「身体」「学習」「生活」「社会性」の4つのスキルトレーニングを行い、グループワークを基本とした集団療育の中で、一人一人の課題にアプローチしていきます。子どもたちが社会的な自立を目指していけるように、モニタリングやミーティングを定期的に行い、子どもの将来像に合わせた一貫した支援をスモールステップで行っていきます。

営業時間

13
09

時

30
00

分から

19
17

時

30
00

分まで

送迎実施の有無

あり

なし

支援内容

健康・生活

【食育／調理】調理を行うイベントやトレーニングの中で、調理器具の扱いや食品について学ぶ機会を設けていく。（食品に関する工作活動。栄養バランスをテーマにしたカードゲーム。野菜の栽培。など）

【衛生管理】 手洗い、うがい、マスク等のタイミングを一日のスケジュールの中で視覚的に提示し、習慣化と意識づけを行っていく。（感染症をテーマにしたカードゲーム。大掃除。など）

【整理整頓】 片付け方法や場所、タイミング、手順などを視覚的に提示するとともに、確認をする機会をこまめに設けながら、自主的に管理することに意識を向けさせていく。（片付けの要素を取り入れた運動トレーニング。など）

【身だしなみ】 場面にあった適切な服装について視覚的に提示する。チェック表を用いて自身で身だしなみを整えることを習慣化させていく。（季節を意識した衣服を選ぶ工作。トレーニングや衣服の乱れを見つけるクイズ。など）

【スケジュール管理】 時計やスケジュール表を用いて、時間の経過や見通しを持って行動する練習を行っていく。（生活のスケジュール作成や時刻等の確認。作業の優先順位を考えるトレーニング。など）

運動・感覚

【基礎体力】 筋力トレーニングや持久走等の根気が必要となる種目に取り組みせながら、体力とともに粘り強く繰り返し挑戦する気持ちを養っていく。

【粗大運動】 走る、投げる、跳ぶなど全身を使った動きやバランス感覚、リズム感覚をの楽しく身体を動かしながら養っていく。

【微細運動】 結ぶ、巻く、絞る、摘むなどの細かな作業を工作活動や運動活動に取り入れ、指先の力加減や動かし方を練習していく。

【空間把握】 ボールを用いた運動の中で的や目標物を当てたり、動く人に投げたりして適切な距離感を身に付けていく。また、立体造形を目的とした工作活動を取り入れていく。

【道具操作】 運動を通してボールやラケットなど道具の扱いを学ぶ機会を設けていく。また、工作ではハサミなどの文房具の扱いについても使用しながら練習を行っていく。

認知・行動

【思考力】 テーマを基にディスカッションやディベートを行う活動の中で他者を説得する練習をしていく。また、他者の意見を聞く場面を設け、多様な視点を身に付ける場を設けていく。

【判断力】 対戦型のボードゲームやカードゲームを行う中で、複数の選択肢の中から場に合った行動を選ぶ練習をしていく。

【表現力】 様々なテーマに沿ってイメージを広げたり、アイデアを出したりする事に慣れさせていく。また、工作物等で表現したり、言葉で説明したりする練習を行っていく。

【解決行動】 身の回りの出来事に対してどのような解決方法があるかを考えたり、他者と協力したりする機会を設けていく。

【回避行動】 問題から逃げたり、距離を取ったりする事に慣れさせるとともに、回避する為に準備しておく事について指導員と一緒に考える練習をしていく。

言語

コミュニケーション

【語彙】 語彙や言い回しの意味について調べたり、活動の中でスタッフと一緒に使用したりしながら支援していく。また、言葉や文字で考えを表現する機会を活動の中で繰り返し設けていく。

【聞く／話す】 適切な話の聞き方、話し方を視覚的に提示し、実際に練習を行い、スタッフと一緒に振り返る時間を設けていく。

【受容】 他者の意見を優先したり、賛成したりする事を活動の中で要求しながら、受容的な態度を示す事に意識を向けさせていく。

【主張】 どう思っているのか、何を感じたのかについて言葉にしたり、紙に書いてまとめたりする事に慣れさせていく。また、討論の場を設け、論理的に意見を主張する練習を行っていく。

【推察】 相手の表情や態度の変化をこまめに知らせながら、どんな気持ちなのかについてスタッフと考える時間を設けていく。（表情カードを使ったカードゲームや暗黙のルール、言葉の裏の気持ちを読み取る心理ゲーム。など）

人間関係

社会性

【規範意識】 教室のきまりやルールについて事前に確認する時間を設けていく。また、自身の言動や選択した遊びが安全に行えるか、他者とのトラブルに繋がらないかについて考える時間を設けていく。（教室のきまりやルールについて視覚的に提示。複雑なルールやルールの変更がある活動。交通ルールなどを意識した外出活動。など）

【協調性】 チームで行う活動やペアになって協力する活動を経験する機会を設けながら、他児童との関わりを意識を向けさせていく。

【役割理解】 活動内で年齢相応の役割を提示し、責任を持って最後まで取り組む機会を設けていく。また、役割を果たすことができたかの自己評価と他者評価から振り返る機会を設ける。

【関係調整】 活動や余暇時間の中で他者と意見が衝突する場面を意図的に設けながら、どのように解決するべきかについて考えさせていく。

【自己理解】 心理テスト等を用いて自己分析をし、自身への理解を深め、自分の個性や強みや弱みを正しく認識させていく。

家族支援

- ・ 家庭や家庭外での本人の様子について伺い、必要な助言を行う。
- ・ 兄弟姉妹への相談援助
- ・ 保護者同士の交流の機会の提供（保護者会等）
- ・ 具体的な場面を想定しながら、家庭で実施することができる対応方法を提案・助言する。

移行支援

- ・ 学校や事業所での様子、対応方法等についての共有を図り、将来像に合わせた一貫した対応を行うことができるようにする。

地域支援・地域連携

- ・ 各関係機関との情報共有に基づき、具体的な場面を想定した上で、児童・生徒への関わり方を具体的に提案・助言する。

職員の質の向上

- ・ 外部講演会や各種勉強会、研修への参加と実施
- ・ 支援方法、支援方針についての内部研修、情報共有

主な行事等

- ・ 月一回以上のイベント的活動の実施（プール・工作イベント・調理イベント・外出イベント）
- ・ 避難訓練
- ・ 他事業所との合同公開トレーニング、保護者会の開催